



食生活などの変化で大腸がんが増えています。

しかし、精密検査の受診率が低く、当院は健康診断終了後、「便潜血反応陽性者」には保健師が検査の内容や手続きを説明します。内科外来を受診してもらい医師から説明を受け、その日のうちに大腸精密検査の予約を取ることが出来ます。

精密検査は「大腸内視鏡検査」と、「大腸CT検査(大腸3D-CT検査)」のどちらかを選びます。大腸CT検査は、

④5 健診センター・大腸がん検診

組織をとって調べたり、ポリープを切除したりすることはできませんが、抵抗感が少なく、受診率アップが期待されている新しい検査です。

大腸がんは五十歳を過ぎたころから急増し、年齢が上がるほどリスクが高まります。一方、近年は低年齢化も進み、当院で精密検査を受け三十代でがんが見つかった方もいます。当初は自覚症状がないことが多く、小さいうちに発見できれば内視鏡による治療もできますので、精密検査が大事になります。

3階の健診センターへ向かう1階の入り口＝名古屋市中区の中日病院で



中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。☎ 中日病院健診センター＝052(961)2496

大腸がんの要因は、生活習慣以外に大腸ポリープがあること、家族に大腸がんになった人がいること、潰瘍性大腸炎やクローン病(炎症性腸疾患)、がんになったこと(近藤かおる健診センターがある場合などです。保健師・談)

抵抗感少ないCT検査